

会 議 録

会議の名称		令和 7 年度第 1 回光輝学園コミュニティ・スクール協議会		
開催日時		令和 7 年 6 月 3 日（火）開会 13:20 閉会 15:30		
開催場所		つくば市立手代木中学校 B 棟 3 階多目的室		
事務局（担当課）		つくば市立手代木中学校		
出席者	委員	近藤 大雄、足立 透、吉岡 良治、宮腰 清一、牧 陽子 小杉 真紀、齋 均、須藤 路子、佐伯 朋子、森 智世 手代木中学校：校長 四位 悟、教頭 菅沼 祐子 教務主任 内田 尚樹 葛城小学校：校長 栗山 良一、教頭 小松原 美香 教務主任 笠松 晶 手代木南小学校：校長 石田 容之、教頭 土井 志穂 松代小学校：校長 横田 康浩、教頭 清水 匠 教務主任 野尻 和幸		
	その他			
	事務局	教育局生涯学習推進課 参事：山口 健次 教育局生涯学習推進課 社会教育主事 村上 和宏 教育局生涯学習推進課 地域連携教育指導員 酒井 和宏		
公開・非公開の別		☐ 公開 ☐ 非公開 ☒ 一部公開	傍聴者数	0 人
非公開の場合はその理由		つくば市情報公開条例第 5 条第 1 号（個人情報）に該当する情報を取り扱うため		
議題		「目指す児童生徒像に向けた教育活動・学校支援の在り方」～地域と連携した活動の充実に向けて～		
会議録署名人			確定年月日	年 月 日
会議次第	1 開会 2 任命書の交付 3 自己紹介 4 授業参観			

5	説明事項 つくば市のコミュニティ・スクールについて
6	会長・副会長の選出
7	協議 (1) 学校運営の基本方針 (2) 熟議「目指す児童生徒像に向けた教育活動・学校支援の在り方」 ～地域と連携した活動の充実に向けて～ (3) コミュニティ・スクール協議会今後の予定について
8	閉会

1	開会 菅沼委員：ただ今から、令和7年度 第1回 光輝学園コミュニティ・スクール協議会を開会する。 はじめに、会議を進行するに当たり書記を決めたいと思います。光輝学園 内田先生 をお願いしたい。 → 承認
2	任命書の交付 菅沼委員：続きまして、「任命書の交付」を行う。コミュニティ・スクール協議会委員の任命書は、机上に配布されている。
3	自己紹介
4	授業参観
5	説明事項 つくば市のコミュニティ・スクールについて（村上社会教育主事）
6	会長・副会長の選出 ・会長 足立委員、副会長 近藤委員 選出 →承認
7	協議内容 (1) 学校運営の基本方針について ① 光輝学園長（四位校長）：学園グランドデザイン（学園要覧）の説明 光輝学園の名前は、平成7年当時、本校で行われていた文化祭・光輝祭に由来している。この文化祭は一人一人が生き生きと輝くと同時に、学校自体も元気に溢れ輝いてほしいという思いを込めて開催された。光輝学園という名称にはその思いが込められている。 その思いを受け、学園目標「未来をひらく力を身に付け、夢に向かって自ら学び一人一人が輝き活躍できる学園」と設定した。 学園の「目指す児童生徒像」は、9年間を見通して、未来を志向し、夢や希望をもってたくましく生きる児童生徒の育成を目指している。 学園内では様々な「小小同士の連携」、「小中交流行事」を実施しているが、それらの行事を通して、いかに目指す児童生徒像に近づけるかを考えながら計画し、実行している。具体的には、合同での引き渡し訓練

の実施、教職員の資質向上に向けての研修の実施などを行っている。

変化の激しい現代社会、今後さらに加速していくことが予想される。現代社会において、学校だけの力では子供の育成に太刀打ちできない状況である。義務教育の9年間は、子供たちは地元、地域で育っていく。これからは、今まで以上に学校・保護者・地域の三者が思いを共有し、多くの人たちで関わり育てていく必要がある。

未来を自らの力でひらき、夢に向かって進んでいくための様々な力を身に付けさせたいと考える。

② 葛城小学校（栗山校長）：葛城小学校グランドデザインの説明

本校は、児童数 510 名、通常学級 18、特別支援学級 4、教職員数約 40 名である。

学校教育目標「夢や希望をもち、心豊かにたくましく生きぬく児童の育成」を設定している。また、経営方針は「一人一人を大切にし、愛情と信頼を基盤とした教育活動」、そして、学校の組織目標は、「子どもたち一人一人の可能性を引き出す教育活動の推進」としている。

時代の変化が激しい社会で、子供たちの可能性をどう伸ばしていくか、様々な活動を通して達成していきたいと考えている。また、学校全体の取組として、「かしこさ」「なかよし」「たくましさ」の知徳体の3本の柱を掲げている。学校教育の充実のためには、地域、保護者の御支援が重要になる。御協力をお願いします。

③ 松代小学校（横田校長）：松代小学校グランドデザインの説明

本校は、児童数 373 名、通常学級 12、特別支援学級 3、通級での日本語学級が2クラス、今年度で創立 35 周年になる。

学校教育目標は、「豊かな心と創造力にあふれ、たくましく生きる児童の育成」で、経営方針として、「仲間と対話し支えあう、みんなが楽しい学校づくり」を設定した。令和5、6年度につくば市のルールメイキングプロジェクトの指定を受け研究してきた。そこで大事にしてきたことは、対話を通して協働性を高めていくことである。この実践を通して今年度は、対話を通して、多様性を育て、みんなが楽しくするためにはどうしたらよいかを考えさせたい。

この経営方針実現のため、「学び」「心」「身体」を設定した。「学びわくわく」では、学ぶ楽しさを実感できる、自立的な授業づくりを目指す。「心ポカポカ」では、思いやりの心を育むことをねらいとし、ルールメイキングを有効活用し、納得解を導く力、折り合いをつける力を育てていく。心の安定基地となる学級づくりを目指す。「身体もりもり」においては、リズムジャンプを活用した体力の向上、栄養教諭配置の強みを生かし、食に関する指導の充実にも力を入れていきたい。

④ 手代木南小学校（石田校長）：手代木南小学校グランドデザインの説明

Our Purpose（志）が学校教育目標にあたる内容で「よりよい未来を築くために人を育てる」を基本としている。

Our Dream（夢）は具体的な取り組みで、「児童一人ひとりが夢をもつ

て生活できる学校」、「コミュニティ・スクールで地域と夢を共有できる学校」、「教職員が、夢をもって勤務できる学校」としている。「児童一人ひとりが夢をもって生活できる学校」に関しては、「教えから学びへ」を実現する。研究テーマは「児童が楽しくわくわくできる授業」とした。

Our Belief (信念) は、「失敗しても挑戦を称えよう」「Best より Better をめざせ」「人と違った“いいね”を育てよう」となっている。

組織目標を「児童や地域にとっての 教職員にとっての Well-Being をめざして」とし、重点的な取組の柱としている。これらの取組を推進する上で、地域の人材資源等を活用した体験的な学びのさらなる充実や、学校運営の質を高める地域との協働体制の構築などが一層重要になり、その中心となるのが、コミュニティ・スクールとの連携であると考えている。

以上のことを踏まえながら、一人一人が Well-Being を実感し、未来に向かってともに歩むことができる手代木南小学校をつくっていききたい。

⑤ 手代木中学校（四位校長）：手代木中学校グランドデザインの説明

今年度テーマに掲げているのは「生徒・そして教師も成長できる学校」である。それを具体化するために、6つの力で囲んでいる。

その中でも、昨年度の協議会で課題として出た、「あいさつ」に力を入れたい。あいさつは最も大切なコミュニケーションツールである。教職員から積極的にあいさつをしていこうと話をしている。

もう1つは、3年間言い続けている「思いやり」にも力入れていきたい。感謝の気持ちをもつ、人にされて嫌なことはしない。これらを軸にしていきたい。

また、学力、自立する力も付けていき、自分の道は自分で切り開いていき、社会に出た時に迷わないようにさせたい。

生徒総会でのスローガンが「全信全礼」となった。「みんなを信じることとマナーが大切である。」という意味である。グランドデザインにも示している思いが繋がったと感じた。これからの学校経営でも、子供たちや先生方を全力で信じていきたい。

(2) 熟議「目指す児童生徒像に向けた教育活動・学校支援の在り方」

～地域と連携した活動の充実に向けて～

【ファシリテーター：近藤委員】

近藤委員 本日はまず、各校ごとに、今年度から始まった「地域と学校との連携事業」に係る事業計画および予算計画について、各校教頭より説明がある。その後、それらの計画も踏まえながら、本協議のテーマの下、目指す児童生徒像に向けて、地域と連携した活動を充実させるためには、どのような教育活動ができるか、地域としてどのような学校支援ができるかについて、ワークシートに沿って話し合いを進めていただきたい。

・各校の事業計画・予算計画について（各校教頭より）

→ 各校資料に沿って説明

・話し合い（各校ごと）

① 手代木中

- ・「あいさつ」「見守り」「環境整備」という点で学校と地域が連携できるとよいのではないかな。
- ・「地域との連携」の「地域」は、どのような範囲を指すか。地域の結び付きを強化する活動で具体的に何ができるかな等を考える上でも、捉え方を共有したい。
- ・「ボランティア謝礼」は、どのような活動に対して、どのくらいの金額が支払われるのかについて、学園・市等である程度統一した方がやりやすい。
- ・環境整備は、保護者だけでなく、地域の方の協力も得て、コミュニティ・スクールとしての活動にできるとよい。

② 葛城小

- ・活動内容については、葛城版コミュニティ・スクールにおいて実施してきた活動を継続していきたい。
- ・予算について、どのようなものを購入できるのかについて検討した。
- ・委託料の適用範囲について市の担当者の方に話を聞いた。

③ 松代小

- ・地域にはたくさんのすばらしい人材が居住している。その人材をどのように学校とつないでいくか、CS委員として力になりたい。
- ・そのためには、人材バンクのような積み重ねがあるとよい。
- ・学校支援ボランティア「松ボラちゃん」を核として、徐々に地域に展開していく形が取れるとよい。まずは、在校生・卒業生保護者などの顔が見える方からスタートすると、安心・安全に実施できるのではないかな。

④ 手代木南小

- ・学校で支援を必要としている部分については、地域に協力を求めるだけでなく、保護者が自分事として「みんなで子育て」の意識をもち、連携してすべての子供へ支援をしていくことが大事である。
- ・学校で教員が助けてほしいと思っていることについて、教員へのアンケートを夏休み前までに実施する。それをもとにコミュニティ・スクールとして何ができるかを考えていきたい。

・全体共有、振り返り

近藤委員 各校の発表からは、人材バンクの構築・活用、今まであった組織の活用・発展等、地域性・特性のある話が出た。これから、どのように地域と連携していけばよいのか、すぐには答えが見つからないが、学園の目標は、「子供たちの未来をひらく」が大きなテーマにもなっているので、ぜひそのテーマの実現に向けて、本事業を進めていけるとよい。また、この学園には、いろいろな人材がいる。その人材を吸い上げ、子供たち

のために活用できるとよいのではないかと考える。

(3) 今後の予定

・今年度年3回開催予定

2回目は、令和7年8月4日 葛城小学校にて開催予定

3回目は、令和8年2月10日 松代小学校にて開催予定

8 閉会

※本日の会議の様子や写真はつくば市教育委員会ホームページ掲載予定

令和7年度第1回光輝学園コミュニティ・スクール 協議会

日 時 令和7年6月3日（火） 13：20～

場 所 光輝学園つくば市立手代木中学校
B棟3階多目的室

次 第

1 開 会

2 任命書の交付

3 自己紹介

4 授業参観（20分程度）

5 説明事項
・つくば市コミュニティ・スクールについて

6 会長・副会長の選出

7 協 議

（1） 学校運営の基本方針（令和7年度グランドデザイン）について

（2） 「目指す児童生徒像に向けた教育活動・学校支援の在り方」
～地域と連携した活動の充実に向けて～

（3） コミュニティ・スクール協議会の今後の予定について

8 閉 会

令和7年度 光輝学園コミュニティ・スクール協議会
(第1回: 6月3日 火曜日) 受付名簿

番号	委嘱の区分	氏 名	所属・役職
1	(4) 学識経験者	吉岡 良治	元校長
2	(3) 地域学校協働活動推進員	足立 透	元手代木中PTA会長
3	(3) 地域学校協働活動推進員	近藤 大雄	手代木中PTA会長
4	(5) 各学校長	四位 悟	校長
5	(6) 教職員	菅沼 祐子	教頭
6	(6) 教職員	内田 尚樹	教務主任
7	(3) 地域学校協働活動推進員	宮腰 清一	葛城版コミュニティ・スクール会長
8	(3) 地域学校協働活動推進員	清岡 翔吾	葛小応援団長
9	(4) 学識経験者	舘野 清子	かつらぎ保育園長
10	(5) 各学校長	栗山 良一	校長
11	(6) 教職員	小松原 美香	教頭
12	(6) 教職員	笠松 晶	教務主任
13	(2) 児童・生徒の保護者	牧 陽子	手代木南小PTA会長
14	(1) 地域住民 (3) 地域学校協働活動推進員	小杉 真紀	てみなみんなの学校ボランティアお世話係
15	(2) 児童・生徒の保護者	齋 均	おやじの会会長
16	(5) 各学校長	石田 容之	校長
17	(6) 教職員	土井 志穂	教頭
18	(6) 教職員	原口 知武	教務主任
19	(4) 学識経験者	須藤 路子	元校長
20	(2) 児童・生徒の保護者	佐伯 朋子	父母と教師の会役員
21	(2) 児童・生徒の保護者	森 智世	父母と教師の会役員
22	(5) 各学校長	横田 康浩	校長
23	(6) 教職員	清水 匠	教頭
24	(6) 教職員	野尻 和幸	教務主任
25			
26			
27			
28			
29			
30			



令和7年度 光輝学園 つくば市立手代木中学校
グランドデザイン



光輝学園教育目標
未来をひらく力を身に付け、夢に向かって自ら学び、
一人一人が輝き活躍できる学園

本県教育の目標

ひとりひとりの能力を開発し
豊かな人間性をつちかう
じょうぶな身体をつくり
たくましい心を養う
郷土を愛し協力し合う心を育てる

いばらき教育プラン

一人一人が輝く教育立県を目指して
～子どもたちの自主性
自立性を育もう～

学校教育目標

人や社会とつながり、未来を切り拓く
心豊かな生徒の育成

目指す教師像

- 学びを止めない教師
- 熱い思いを持った教師
- 生徒を何よりも大切に
する教師

目指す生徒像

- 自分の考えをもち、判断
し、実行する生徒
- 思いやりがあって、優しさ
あふれる生徒
- 社会の一員としての自覚
を持ち貢献できる生徒

つくば学び推進方針 2025

みんなが幸せを実感できる学校
～自己実現できる学校・みんなで支え合い、
みんなが生き生きとした学校～
○教えから学びへ
○管理から自己決定へ
○認知能力偏重から
非認知能力の再認識へ

光輝学園の目指す児童生徒像

9年間を見通して、未来を志向
し、夢や希望をもってたくましく
生きる児童・生徒

<目指す学校像>

手の中に集うすべての人が
互いを尊重し 思いやりをもち 言葉を掛け 補い合って
誰もが成長できる学校

学校組織目標

探究心と思いやりに溢れ 夢に向かって挑戦できる学校

思いやり

- ・互いに尊重し合う(多様性を認める)
- ・感謝の心(ありがとうが溢れる日常)
- ・自分がされて嫌なことは人にもしない

確かな学力

- ・探究心をもって主体的に学ぶ
- ・協働的な学び・ICT活用
- ・世界的視野をもつ

自律力

- ・自らの考えをもち、自ら判断し、
自己決定して行動する
- ・自らの目標に向かって、調整し
ながら達成しようとする

生徒・そして教師も

成長できる学校

～幸せを感じながら～

規範意識

- ・社会のルール
- ・「当たり前」を地道に続ける
- ・堂々と、そして生き生きと生活する

チャレンジ精神

- ・夢をもち、果敢に挑戦する力
- ・1度や2度の失敗に負けることなく、
再挑戦する力(レジリエンス)

あいさつの輪

- ・あいさつは最も大事なコミュニケーションツール
- ・あいさつから広がる、「安心・信頼・思いやり」
- ・あいさついっぱいの学校、地域

地域に愛さ
れる学校

地域を愛す
る生徒

コミュニティ・スクール

保護者、地域、学校が協働しなが
ら子供たちの豊かな成長を支える

保護者・地域・学校の連携が土台

～保護者が幸せ・地域が幸せ～

安心・安全な学校

あいさつの輪で広がる・つながる
コミュニティー



令和7年度(2025年度) 光輝学園つくば市立葛城小学校 グランドデザイン



光輝学園教育目標

未来をひらく力を身に付け、夢に向かって自ら学び、一人一人が輝き活躍できる学園

本県教育の目標

ひとりひとりの能力を開発し
豊かな人間性をつちかう

じょうぶな身体をつくり
たくましい心を養う

郷土を愛し協力し合う心を育てる

学校教育目標

夢や希望をもち、心豊かに
たくましく生きぬく児童の育成

つくば市の教育大綱

一人ひとりが幸せな人生を送ること
①「教え」から「学び」へ
②「管理」から「自己決定」へ
③「認知能力偏重」から
「非認知能力の再認識」へ
「問いから始める学び」の推進
知識の教え込みでなく
自己・他者・社会を探究する

目指す教師像

- 子どものためになることを本気で考え、全力で取り組む教師
- 明るさと和を大切に、協力し合う教師
- みがき合い、高め合い、支え合いながら資質の向上を目指す教師

目指す児童像

- 学力を身につけ自分の夢を育てるかつらぎっ子
- 感謝と思いやりの気持ちをあらわすかつらぎっ子
- 体をきたえ、ねばり強く取り組むかつらぎっ子

光輝学園の目指す児童生徒像

9年間を見通して、未来を志し、
夢や希望をもってたくましく生きる
児童・生徒

いばらき教育プラン

一人一人が輝く教育立県を目指して
～子どもたちの自主性
自立性を育もう～

経営方針

一人一人を大切に、愛情と信頼を基盤とした教育活動

本年度の研究主題 (学園) 未来をひらく力を身につけ、夢に向かって自ら学ぶ児童生徒の育成 ～個別最適な学びと協働的な学びをつなぐ学習活動を通して～
(学校) 協働的な学習を通して問いを解決し、学びを深める指導の在り方

学校組織目標

子どもたち一人一人の可能性を引き出す教育活動の推進

- 新しい時代を生きる児童を育てる教育活動の充実
- 思いやりの心を育てる学級経営の充実
- 自ら学び、考え、生かすことができる学習指導の充実

かしこさ

～確かな学力を育む教育の推進～

【授業改善「わかる、できる」(深め合い)】

- 主体的・対話的で深い学びの実現
・学びを深める課題設定の工夫や考えを広げたり、深めたりする発問や授業形態の工夫
・習得した概念や考え方を活用し、新たな問いを見いだして解決する授業の工夫
- 基礎的・基本的な知識・技能の習得と思考力、判断力、表現力等を育む授業の工夫
・見方・考え方を働かせながら行う学習の充実
・ICTを活用した指導方法の工夫改善
- 個に応じた多様な指導方法及び指導体制の工夫
・TTや少人数指導等の充実
・専門性を生かした教科担任制の推進
- 特別支援教育の推進
・全職員で取り組む特別支援教育の推進
・ニーズに応じた支援、チームサポートの推進と支援会議の充実
・家庭との連絡の充実及び教職員の連携

なかよし

～豊かな心を育む教育の推進～

【学級経営、心の教育の充実(認め合い)】

- 所属感や励まし合いを大切にする学級経営の充実
・思いやりの心を育てる体験活動の充実
・あいさつ、ことば遣い、規範意識の向上・達成感による自信を持たせる学級経営
- 互いを褒める、認める温かい人間関係づくりの推進
・よりよい学級、学校生活をつくる教育活動の推進
・いじめ等の未然防止につながる児童会活動の自主的な取組の充実(いじめゼロ作戦)
- 社会の変化やグローバル社会に対応できる教育の推進
・ESD(持続可能な開発のための教育)の推進
・情報モラル教育の推進
・学習用端末の使い方の指導の充実
- 校内フリースクールの円滑な運用

たくましさ

～健やかな体を育む教育の推進～

【保健指導、体育指導の充実(高め合い)】

- 体育活動の充実
・体力アップ推進プランの改善、充実
・業間、昼休みにおける外遊びの奨励
・体育授業時のサーキットトレーニングの導入(投力・筋力・跳躍力の向上)
- 健康安全教育の充実
・養護教諭、担任との連携による食育及び保健指導の充実
・危険予測、危険回避能力の育成(けがの防止)
・「早寝、早起き、朝ごはん」の推進
・喫煙、薬物乱用防止、性、がん、感染症に関する指導の充実(外部講師の積極的な活用)

学校と家庭、地域が連携して子どもを育てる

- ・自分の考えをもって学習に取り組んでいる 80%以上
- ・意見を出し合って課題を解決している 88%以上

- ・学校生活が楽しい 95%以上
- ・友達と仲良く生活している 95%以上

- ・体力テスト結果A+B 45%以上
- ・朝食を毎日食べる 90%以上

安全・安心な学校づくり【支え合い】

- ・学校施設の安全確保の推進
- ・交通安全指導の充実(自動車学校と連携した交通安全教室)
- ・避難訓練、引き渡し訓練、防災教室
- ・地域との連携による学校防災連絡会議及び学校防災推進事業、通学路の安全確保の推進

教師力・学校力の向上【磨き合い、励まし合い】

- ・教員評価並びに校内研究による人材育成(OJT研修、ブロック研修)
- ・積極的な授業公開、授業参観(保護者の自由参観の奨励)
- ・服務規律の徹底とコンプライアンス意識の向上
- ・「働き方改革」の推進と学校業務の改善(働き方改革推進委員会の充実)
- ・小中一貫教育の充実～「心と学びの連続性」

地域とともにある学校づくりの推進【つながり合い】

- ・葛小応援団との連携した子どもたちのための活動強化
- ・葛城版コミュニティ・スクールとの連携(かつらぎキッズフェス)
- ・学校教育活動の積極的な公開(各種たより等やスクリレによる情報発信並びに学校公開の充実)

- ・光輝学園コミュニティ・スクールの取組の充実と積極的な情報発信
- ・地域力を生かした教育活動の工夫(昔遊び・防災教室等)
- ・保幼小連携の強化(相互授業参観)
- ・学校、学園評価の活用



令和7年度 手代木南小学校グランドデザイン

Our Purpose(志)

よりよい未来を築くために人を育てる

Our Dream(夢)

夢をもち未来を創る学校づくり

- ◎ 児童一人ひとりが、**夢**をもって生活できる学校
- ◎ コミュニティ・スクールで地域と**夢**を共有できる学校
- ◎ 教職員が、**夢**をもって勤務できる学校

Our Belief(信念)

- ◎ 失敗してもその挑戦を称えよう (good try)
- ◎ Best よりBetter をめざせ
- ◎ 人と違った「いいね！」を育てる

組織目標

児童や地域にとっての 教職員にとっ
ての *Well-Being* をめざして

- ◎ 学校と地域が育むコミュニティ・スクール
- ◎ 心理的安全性を確保できる学校づくり

R7校内研修

～ 育てていきたい児童像～

- 協力できる児童
- 自分の考えを伝えられる児童
- 自ら課題を見つけ解決しようとする児童





光輝学園教育目標

未来をひらく力を身に付け、夢に向かって学び一人一人が輝き活躍できる学園

学校教育目標

豊かな心と創造力にあふれ、
たくましく生きる児童の育成

本県教育の目標

ひとりひとりの能力を開発し
豊かな人間性をつちかう

じょうぶな身体をつくり
たくましい心を養う

郷土を愛し
協力し合う心を育てる

つくば市教育大綱

最上位の目標
一人ひとりが幸せな人生を送ること
考え方の転換
・「教え」から「学び」へ
・「管理」から「自己決定」へ
・「認知能力偏重」から「非認知能力の再認識」へ

目指す教師像

- 教育への情熱をもち
学び続ける教師
- 児童と保護者の気持ちに寄り添う教師
- 心身ともに
健康な教師

目指す児童像

- 自ら進んで学ぶ子
- 感性豊かな
心をもつ子
- 未来をひらく
たくましい子

光輝学園の目指す児童生徒像

9年間を見通して、未来を志向し、夢や希望をもってたくましく生きる児童・生徒

いばらき教育プラン

基本理念
「活力があり、
県民が日本一幸せな県」

経営方針

仲間と対話し支えあう、みんなが楽しい学校づくり

光輝学園研究主題

未来をひらく力を身に付け、夢に向かって学ぶ児童の育成
～個別最適な学びと協働的な学びをつなぐ学習活動を通して～

学校組織目標

- 1 児童同士をつなぎ、主体性・協働性を高める授業づくり
- 2 互いに認め合い、自分を安心して表現できる学年・学級づくり
- 3 児童と向き合う時間の確保とワークライフバランスを意識した働きやすい職場環境づくり

学び わくわく

心 ぽかぽか

身体 もりもり

- 1 学ぶ楽しさを実感できる授業づくり
・児童の声が響き合い、みんながつながりあう教室づくり（ペア・グループ学習の充実）
・一人一台端末等のICTのさらなる活用
・学習意欲を高める学習課題の工夫
・学習の見通しや振り返りの重視
・単元全体を通した授業づくりと付けたい力の児童との共有
- 2 自ら探究し学び込む自律的な学習者の育成
・個別最適な学びと協働的な学びをつなぐ学習活動
・ねらいのある「子供に委ねる場面」の設定
・コーチングによる児童の学びの支援
・外部講師（専門家）の有効活用
- 3 指導体制の工夫
・中・高学年における一部教科担任制の導入
・相互授業参観の日常化と教材の共有

○児童アンケート（肯定的回答）
「授業に進んで取り組んでいる」
95%以上（昨年度93%）
「意見を出し合って学習課題に取り組んでいる」
90%以上（昨年度87%）

- 1 思いやりの心を育む学校づくり
・ルールメイキングを活用し、納得解を導く力、折り合いをつける力の育成
・温かい言葉であふれ、互いに認め合い、自分を安心して表現できる「心の安定基地」となる学級づくり
・係・委員会活動や実行委員会活動の充実
・異学年交流の充実
- 2 自己管理能力を高める取組の推進
・児童の心に響く道徳科の授業実践
・自己決定する場の日常化
・あいさつや感謝の言葉が自然に出てくる児童の育成
- 3 特別支援教育の充実
・特別支援教育コーディネーター等を中心とした校内支援体制の構築
・合意形成に基づく合理的配慮の提供

○児童アンケート（肯定的回答）
「学校生活が楽しい」
90%以上（昨年度85%）
「楽しく生活するため考えて行動している」
85%以上（昨年度78%）

- 1 進んで運動に親しむ児童の育成
・体を動かす楽しさを実感できる授業づくり
・十分な運動量を確保できる授業展開や場の工夫
・リズムジャンプを活用した体力の向上
・業間・昼休みの外遊びの推進
・体力テストの結果の活用と個々の発達段階に応じた指導の充実
- 2 健康の保持増進のための実践力の育成
・養護教諭と連携した保健教育の実践
・家庭と連携した保健教育、薬物乱用防止教室等の実施
- 3 望ましい食習慣の形成と自己管理能力の育成
・栄養教諭と連携した食に関する指導の充実
・早寝・早起き・朝ご飯の推奨

○体力テスト総合評価A+Bの割合
50%以上（昨年度44%）
○児童アンケート（肯定的回答）
「健康的な生活を心掛けている」
90%以上（昨年度85%）

安全・安心な学校づくり

- 1 全教職員による危機管理マニュアルの見直し・改善と効果的な避難訓練の実施
- 2 定期的・日常的な安全点検の実施と適切な処理
- 3 地域との連携による学校防災力の強化

教師力・学校力の向上

- 1 互いに学び合う校内研修の充実（相互授業参観の推奨）
- 2 教員評価を活用した人材育成と学校の活性化
- 3 教師の人間性や創造性の向上
- 4 効果的な教育活動の展開を目指した働き方改革の推進

地域とともにある学校づくりの推進

- 1 コミュニティスクール導入へ向けた推進会議の充実と情報の積極的発信
- 2 ホームページや学校だより等を通じた情報発信
- 3 学校支援ボランティア（松ボラちゃん）の有効活用